

11月うぶやま天文台星空情報 2

## 宵の南の空で 土星と月が並ぶ

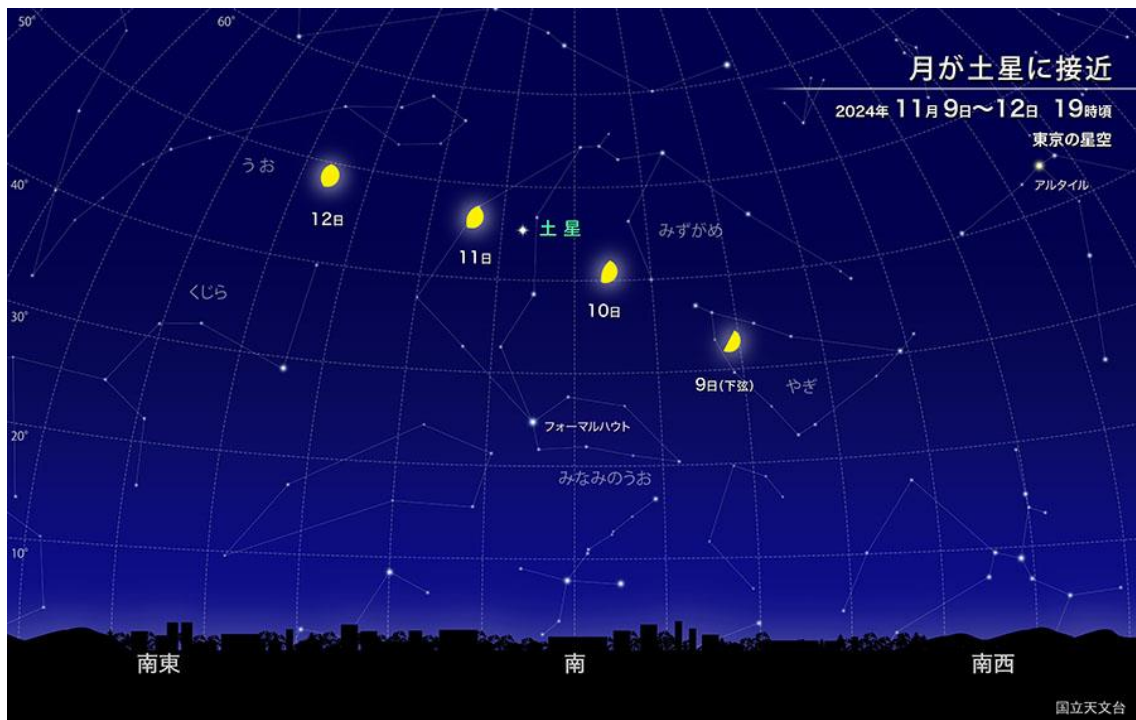


天空が広がる一覽三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)である、うぶやまの高原には冬の足音が聞こえています。

晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

11月のうぶやまの星空情報の第2弾は、11月9日~12日に土星と月が並ぶ天文現象です。

11月10日と11日、宵の南の空に、上弦を過ぎた月と0.8等級の土星が並んで見えます。10日には土星の西側にいた月が、11日には東側に来ています。一晩で月の位置がどれくらい変わるかが、分かり易いでしょう。11日の10時頃に、土星と月は最も接近するのですが、残念ながら日本では昼の時間なので見られません。土星の下に秋の星座の中でたった一つの1等星、みなみのうお座のフォーマルファウトが輝いています。日本では「秋のひとつ星」や「南のひとつ星」と呼ばれるフォーマルファウトですが、秋の清々しい空気を思わせるような落ち着いた白い色をしています。



土星と月の接近